

MANASLU STOVE

NO.121
NO.126
KEROSENE

キャンピング用マナスルストーブ NO.121・NO.126

取扱説明書



警告

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
誤った使い方は重大な事故につながる危険があります。

販売元

株式会社スター商事

住所東京都荒川区東日暮里4-5-16

電話03-3805-2651

製造元

株式会社吉川製作所

※読み終わった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

安全にお使いいただくために…

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
誤った使い方は、重大な事故につながる危険があります。

「警告」「注意」について本取扱説明書では、つぎのような定義で使っています。



警告：

人が死亡または、重傷を負う危険の発生が想定される場合



注意：

人が傷害を負う可能性と物的損害のみの発生が想定される場合

警告



厳
ガ
ソ
リ
ン
禁

ガソリン使用厳禁

* 白灯油専用のストーブです。
ガソリン、その他の燃料を使用しないで下さい。
爆発火災の危険があります。



テント内使用厳禁

* このストーブは屋外用です。
テント内の使用はしないで下さい。
テントの中での使用は、テントに着火する危険があります。
* ストーブの周りには、燃えやすいものなどを
置かないで下さい。



火
災
火
傷

燃料噴出事故・危険防止

* 燃料の量は、製品仕様上にある適正量を必ず守って下さい。
121型0.4Lまで
126型0.8Lまで
満タン状態で、点火後調節弁を緩めると燃料が吹出し
火災・火傷の恐れがあります。



爆
発
危
険

爆発防止

* 2台以上並べての使用はしないで下さい。
本体が加熱し、爆発の危険があります。



分解禁止

事故・危険の防止

- * 修理技術者以外の分解修理、改造は絶対にしないで下さい。思わぬ事故や危険を招きます。

消火して補給

- * 燃料の補給は、必ず火を消してから行って下さい。

製品の熟知と熟練者の指導

- * ご使用になられる前に取扱説明書を熟読し、ご不明の点はお買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。
- * 子供だけの使用は危険です。必ず保護者あるいは熟練者の指導を受けた後、使用して下さい。
- * 掃除針は、掃除以外には使用しないで下さい。使用しない時は、所定の場所に保管して下さい。



予熱剤の継ぎ足し厳禁

- * 予熱剤を燃焼中に継ぎ足すと、予熱剤が飛び散り火傷の危険があります。必ず、火が消えていることを確認してからおこなって下さい。

転倒危険

- * 三脚に規定以上の重いもの、大きいものを乗せると転倒し、火傷、火災の危険があります。
121型は重さ4kg以下、大きさは20cm以下
126型は重さ5kg以下、大きさは30cm以下

本体の異常加熱の危険

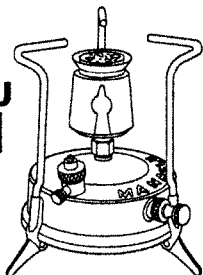
- * 上記規定以上の物を載せた場合、本体部分が異常加熱する恐れがあり、それにより火傷、火災の危険があります。



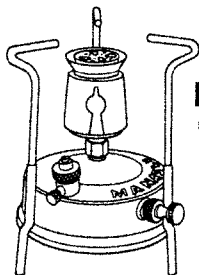
火傷に注意

- * 消火後15分以上おいてから片付けて下さい。三脚等が熱くなっており、火傷の恐れがあります。

MANASLU 121

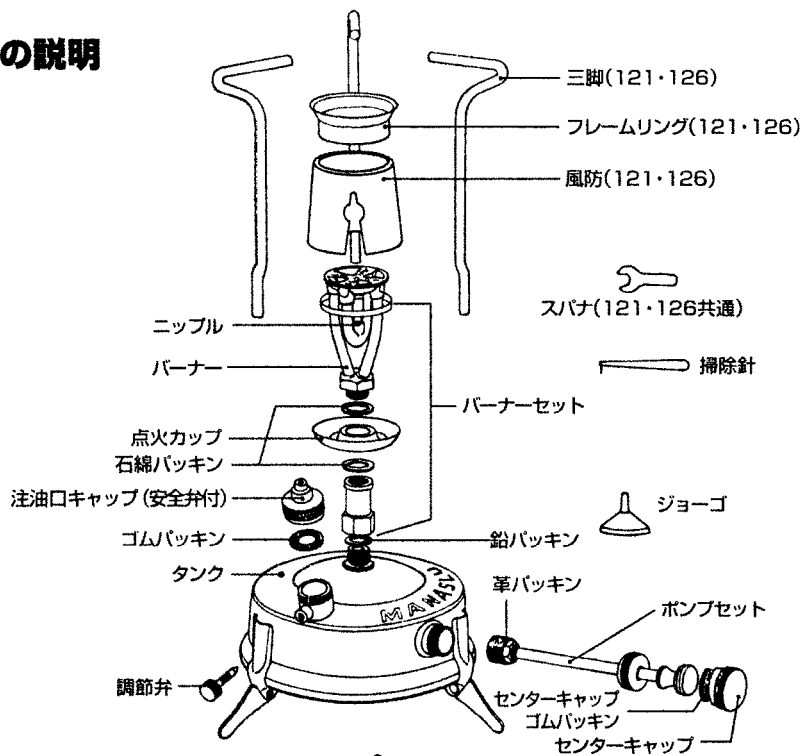


MANASLU 126



仕様	製品NO	121	126
適正容量		0.4L	0.8L
燃焼持続時間		約2時間30分	約5時間
重量(ケース共)		1.35kg	1.85kg
サイズ		14.5x19.5x10	20x20x11
1Lの水を沸騰させるに要する時間 (無風・気温24℃・水温18℃)		4~6分	4~6分

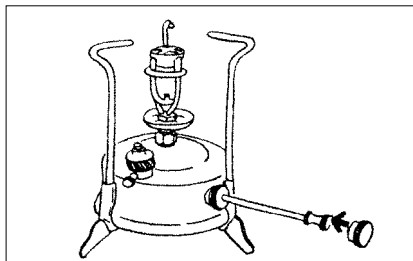
製品の説明



ご使用の方法

1. 組立

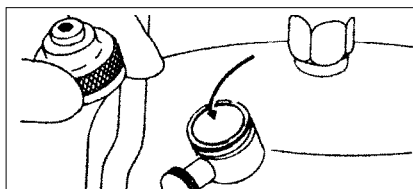
図のように、バーナーヘッドと三脚を所定の位置に取り付けます。この時タンクの中心にあったキャップは紛失しないようポンプハンドルの先端にねじ込んで下さい。



2. 燃料の注入

注入口キャップをはずし、表示された容量の純良な白灯油を入れて、キャップをかたく締めて下さい。

(121型は0.4L・126型は0.8L)



火傷・火災の恐れあり



警告

- 指定容量以上の燃料を入れ、点火後調節弁を緩めると、燃料が噴き出す恐れがあります。
- 燃焼中、予熱剤の継ぎ足しは予熱剤が飛び散り、火傷の恐れがあります。

3. 点火

ストーブは、なるべく風のない所でご使用下さい。ストーブの完全燃焼の為には、バーナーの予熱が必要です。

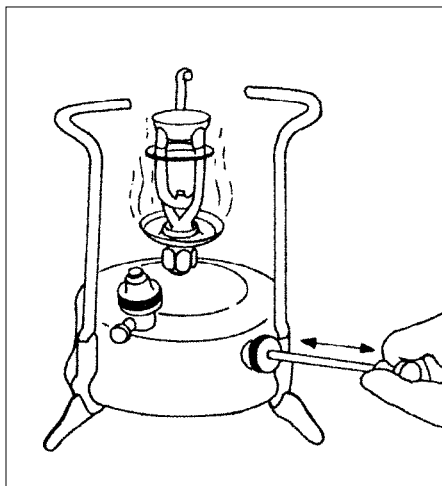
①調節弁を開き、予熱皿に予熱剤を8分目程満たし、風防とフレームリングをセットして、点火して下さい。

②予熱皿の予熱剤が燃え尽きる少し前に、調節弁を閉じ、ポンプを数回ポンピングして下さい。

この時ニップルよりガスが出て予熱剤の炎で点火されます。

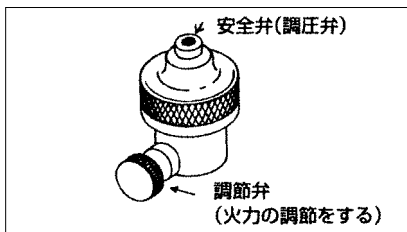
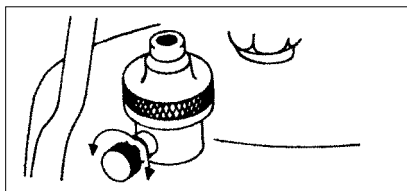
予熱剤が燃えつきて、ガスが点火しない時は、マッチで点火して下さい。

もしも、赤い炎がでる時は、予熱不足ですから、調節弁を全開し、消火後、予熱をやり直して下さい。



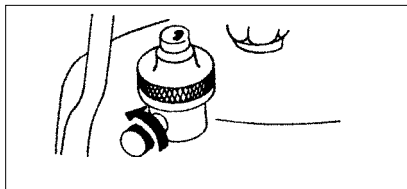
4. 火力の調節

火力を落とすときは、一度、調節弁を開いてエアを抜くと、瞬間的に火力は落ちます。調節弁を閉じ、ポンピングをすれば、また、火力は強くなります。



5. 火を消す時には

火を消すときは、調節弁を徐々に左にまわして、タンク内の圧力を完全に抜いて下さい。



●灯油ストーブを上手にお使いいただくために●

■使用場所

風のないところでご使用下さい。テントなど狭いところでの使用はおやめ下さい。

■安全弁(調圧弁)

注油口キャップには、異常にタンク圧力が上昇したとき減圧するため安全弁が組込まれています。このために自動的に異常な燃焼を防ぐことができます。キャップに組込まれている安全弁は、調節後ロックされていますから、このネジを動かさないようご注意ください。

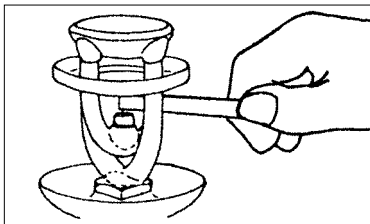
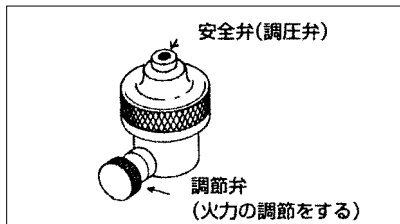


注意 危険防止のため、安全弁のネジは動かさないこと

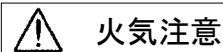
●ストーブの完全燃焼の為には、十分な予熱が必要です。

●点火時にポンピングをした際、灯油がガスにならず液状のまま出てくる時は予熱不足です。すぐに調節弁を左にまわしてゆるめ、火を消して下さい。

●炎の形が悪い時、炎が弱々しかったり、煙を生ずる時は、ニップルが詰まっているしるしです。この場合は付属の掃除針をニップル穴に注意深くさし込んで掃除して下さい。尚穴につまった異物が排除された時、急激に生ガスが噴出する危険をさけるため、必ず一旦火力調節弁を開き、タンク内の圧力を下げてから行って下さい。



- 噴き出した灯油はきれいに抜き取り、再度充分に予熱し点火して下さい。
- 火力調整する時必要以上にポンピングをしないで下さい。圧力を上げ過ぎると炎が一定にならないなどの燃焼異常の原因となります。
- 均一で安定した炎の状況で使うために風防とフレームリングは必ずセットして使って下さい。
- 強風下でお使いになる時は市販のウインドスクリーンなどを使い風を防ぐ工夫をして下さい。
- タンク内への異物の混入はパーナーのつまりなど故障の原因となりますので燃料注入の際は、ジョウゴを使いゴミなど入らないようにして下さい。
- 組立てた状態で使用しないときは、タンク内の圧力が自然にさがり燃料が出てくることありますから、必ず調節弁を開いておいて下さい。この場合、火気の近くに置かないで下さい。



- 日常のお手入れ
 - *長時間お使いにならない時には燃料は必ず抜いて保管して下さい。
- 灯油を入れたままにしますと水分が発生し、腐食などの原因になります。
- *使用期間が長期間あいた時には、使用前に必ず本体部分のパッキンをチェックして下さい。
- パッキン部分の劣化が起き、燃料漏れ、点火或いは火力調節ができなくなる可能性があります。
- *脚部、タンク部などについたゴミはキレイに取り除いて下さい。
- *パーナーヘッドは金属ブラシなどで汚れを落として下さい。

この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが万一故障または、不都合がありましたら、お買い上げの販売店または株式会社スター商事までご連絡下さい。

ご連絡先 **03-3805-2651**
株式会社スター商事

- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不都合または、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

販売元 **株式会社 スター商事**

住所 ●東京都荒川区東日暮里4-5-16

電話 ●03-3805-2651

製造元 **株式会社 吉川製作所**